

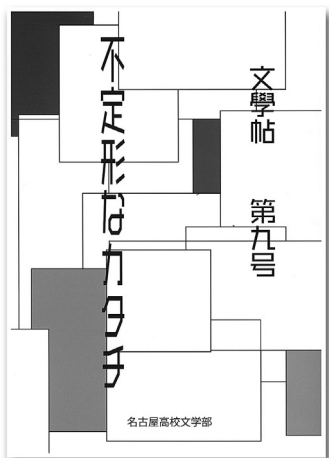
『文學帖』 第九号

名古屋高等学校

文芸部誌『文學帖』、第九号。昨年、文芸部誌甲子園において優秀賞を勝ち取ったこの『文學帖』は、第八号の反省点を踏まえてより良いものとなりました。散文だけでなく、俳句・古典研究とバランスよく企画が盛り込まれております。今回の特集の目玉は「おわりこてんたまでばこ」。古典研究のメンバーが名古屋の文学にまつわる話を紹介し、分析をしたのち、近現代部門の部員がそれを参考にして小説を書くというユニークな企画。きつと新しい名古屋を発見できるものと思います。毎年恒例のテーマ小説のテーマは「不定形なカタチ」。昨年好評の「文学クリニク」は俳句編としてグレードアップ。さらに一定時間内でショートショートを書いて対決をする「ショートショート頂上決戦」。小説家のジャッジを仰ぎに参りました。

第八号をアップグレードした今回の第九号。是非とも私たち名古屋高校の部誌を手にとって下さい。

(二年 樋脇 晃裕)



こんぺいとう 第九号

愛知県立常滑高等学校

私たち常滑高校文芸部は、活動日を昨年より一日増やし、週に三日、小説、詩、短歌、俳句の創作など、様々な活動を行っています。今年は男子部員も増え、男女間の視点の違いに驚かされながら、日々創作に励んでいます。

また、八月に行われた全国高等学校総合文化祭文芸部門には、短歌、部誌の代表として、二名の部員が参加しました。部員が学んできたことを生かし、全国大会で見てきた作品集よりも良いものを作る、と意気込んで、試行錯誤を続けてきました。

今年の部誌は「秘密」をテーマに制作し、リレー小説や三百文字小説、音楽を元にした小説など、沢山の作品を創作することができました。八人の先輩方が引退し、昨年よりも編集作業に追われることになりましたが、部員同士協力し、先輩方の助言をいただきながら、作業が進んでいきました。これまでの反省を生かした冊子になったと思います。



昨年に引き続き、製本を業者にて依頼し、今年は背表紙に部誌名も印刷していただき、より完成度の高い部誌を作ることができました。

今後良い点は受け継ぎ、新たなことに進んで挑戦していきます。

(二年 林 明音)

イナカプレス

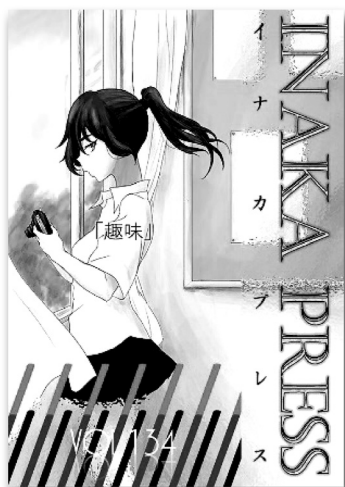
愛知県立成章高等学校

私たち成章高校新聞文芸部では年に一回、「成章祭」と呼ばれる九月の文化祭行事に部誌「イナカプレス」を発行し、生徒及び一般の方へ無料配布しています。

今年は「各々の趣味」をコンセプトにしました。結果としては昨年みたいに統一性のある作品が並ぶといった内容にこそなりませんでしたが、それでも各々の趣味が如実に現れた一冊に仕上がりました。

私たち新聞文芸部では、小説をはじめ、短歌、俳句、装画などの作品を日々作っています。また、今年は新しく「うららか」新入生向けの部誌「うららか」を発行しました。現在は一年生の部員が二名と昨年と比べると少なくなりましたが、今後も従来通りの部活動が続けていきたいと思っています。

(二年 青山 秀人)



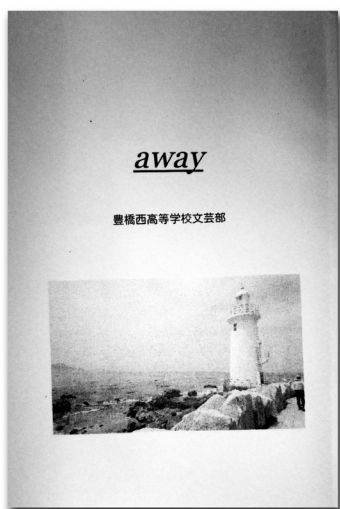
Away

愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校文芸部は、週に三回、俳句・短歌・川柳などの創作を中心に活動を行っています。

また、年に三回文芸部誌「Away」を発行しています。文化祭で発行する本誌は、生徒及び一般の方々に販売しています。昨年まではイラストが中心でしたが、今年は活字を増やし、読み応えのある部誌になっていると思います。普段の活動で詠んだ俳句や短歌、部員が趣味で書いている小説も掲載しています。また、地元豊橋市の名物や、西高校周辺の歴史などについても掲載し、豊橋市や西高校に対する愛情を更に深められる一冊となっています。

(二年 藤原 良典)



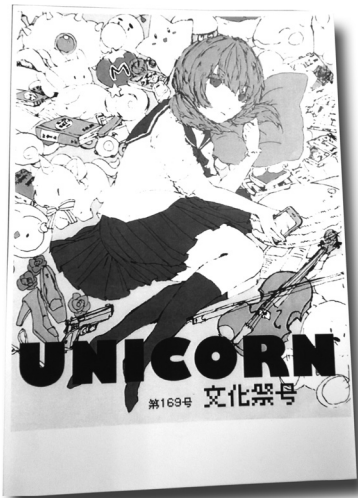
ユニコーン

愛知県立安城高等学校

ユニコーンは、私たち安城高校の文芸誌です。創刊は、一九八六年（昭和六十一年）で、今年で三十二年を迎えます。年六回の発行で、文化祭の時には、創刊号から全てのユニコーンを展示し、卒業生の先輩たちにもみてもらっています。

日頃は、小説・詩・短歌・俳句・イラストと自分の好きな分野で挑戦していますが、今年の文化祭号（二六九号）は、昨年度団体賞をいただいた時の俳句作品をまとめました。一つは、神奈川大学全国高校生俳句大賞において団体奨励賞を、もう一つはおーいお茶新俳句大賞で優秀学校賞をいただいた時の作品です。これからも俳句には磨きをかけていきたいと思えます。

（二年 花井さくら）



PiNnacle

愛知県立一宮高等学校

私たちの高校の文芸部では、年に数回、部誌「Pinnacle（ピナクル）」を発行しています。内容は、小説から、絵、漫画に至るまで様々です。

今回紹介させていただいた部誌は、九月に行われた文化祭で発行したもので、OGの先輩方からの寄稿も載っています。

一〜三年合わせて四人という小規模な部活ではありますが、個々の個性を生かし、これからも頑張っていきたいと思えます。

（三年 渡邊宗一郎）

三年 松田あすか

三年 橋本佐和子

一年 高桑 一彰

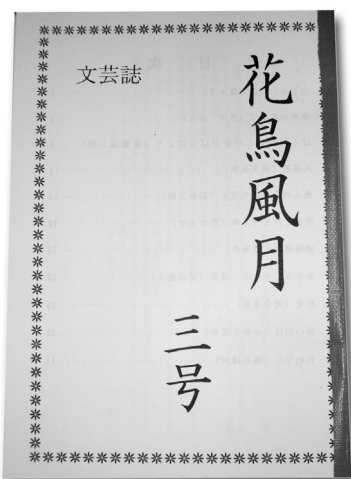


花鳥風月

愛知県立一宮南高等学校

私たちの学校は広大な濃尾平野に位置しているので、校舎からは雪がのこる山々が見え、近くにある田んぼでは白い羽をなびかせた白鳥が優雅に舞っており、冬には伊吹おろしの風が吹き付けるといふ自然に囲まれた高校です。このようなことから私たちは文集の名前を「花鳥風月」となづけました。

(二年 山川菜々子)



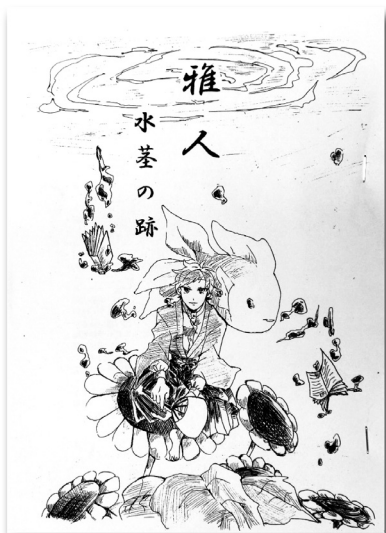
雅人 — 水茎の跡 —

愛知県立蒲郡高等学校

私たちは、まだ同好会ですが、部に昇格できるように日々頑張っています。同好会内は、とてもアットホームな雰囲気です。みんな楽しく活動しています。

この部誌は、私たちが夏に発行したものです。ミステリーとファンタジーが題材となっています。一人一人、自分の世界をふくらませて、素敵な作品の集大成にすることができました。それぞれの独創的な世界観を、楽しんで頂けたら幸いです。

(一年 藤城ゆう夏)



四季桜

愛知県立加茂丘高等学校

加茂丘高校文芸部では、文化祭と卒業式に合わせて年二回発行する「四季桜」と二か月ごとに「テーマ」を決め、部活動内で発行する「月刊誌」を製作しています。

部員は、三年生十二名、二年生二名、一年生十名です。毎週火曜日、水曜日、金曜日に図書室で活動しています。今までは絵を描く部員が多かったですが、小説を書く部員も入ってきて、より一層個性豊かな作品が増えました。

今年度は一昨年度に製作した地域バスを題材にした絵本が好評を博し、二作目の絵本製作に取り組みました。三年生を主体とした絵本製作チームで地元「藤岡」の民話に少しアレンジを加えながら製作しました。また、私たちの作品が地元の交流館などに展示されるようになりました。個人作業の多い活動の中で皆で力を合わせ一つの作品を作り上げる活動ができたことをうれしく思います。

この機にグループ活動の場を増やし、地域に貢献でき、部員同士の絆をさらに深めていくよう日々努力していきたいと思っています。

(二年 中條 愛花)



卵と雛の突然変異

愛知県立国府高等学校

国府高校文芸部では、部誌『卵と雛の突然変異』を、文化祭での校内販売と春に卒業生に向けて製作するスタイルで、年に二回発行しています。

部誌の製作にあたり、部員全員が一つずつ作品を出し合い、表紙や挿絵も各々がこだわって作りました。印刷なども部員同士で協力し合って作業しています。

部誌の製作以外では、リレー小説をしたり、話し合ったりと、和気藹々とした雰囲気自由に活動しています。

そんな部員たちが出し合う作品は、それぞれの世界観があり、個性に溢れています。

先輩方が長年繋げてきてくださった『卵と雛の突然変異』を大切にしていきたいです。

(二年 市田みのり)



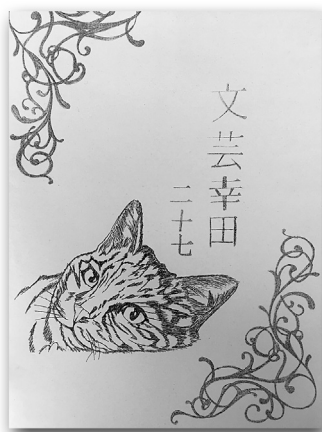
文芸幸田

愛知県立幸田高等学校

こんにちは。幸せの田んぼ、幸田高校です。私たちは、俳句を中心に、短歌・小説・エッセイ等、各々のやりたい作品を作り、日々の部活に取り組んでいます。今年は、第二十回俳句甲子園において、全国準優勝という成績を挙げました。そして今、先輩たちを越えるべく、後輩一同頑張っています。

私たちは、良くも悪くも自由人です。自由な発想を部員で共有することでお互いを高め合っています。その自由の中に個性があり、その個性を尊重し、新しい俳句の観点を見つけることで、私たちの俳句力を伸ばしていきます。

俳句甲子園を勝ち抜くためには、部全体の結束力が必要です。そのために、学年関係なく話せるようにしています。そうすることで、雰囲気は良くなり、揺るぎない信頼が生まれます。



俳句甲子園を勝ち抜いた先輩たちには、他とは比べようのない信頼関係がありました。それを越えるべく、日々の部活を大切にしていきます。
(二年 三田 悠斗)

COSMOS

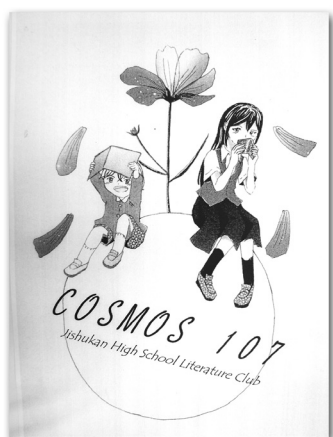
愛知県立時習館高等学校

私達、時習館高等学校文学部の部誌『COSMOS』は、一九六一年発行開始より五六年目にして、一〇七号目を作り上げることが出来ました。年二回、春(新入生、卒業生用)・秋(文化祭販売用)に発行される『COSMOS』には、各部員のオリジナルな小説、詩、イラストや、一つのテーマから作品を創造する「テーマ企画」など、種類豊富に掲載されています。今年度は例年よりも、小説が多く掲載されています。

また私達の部誌は、秋は印刷まで、春は印刷・製本を含む全行程を部員で行います。完成した作品を部員全員で読み合わせを行い、批評会を開催して互いに能力の向上を図ることも、部活動の一環として行っています。今年も部誌『COSMOS』を、時習館文学部の歴史に新たに加えることが出来たという喜びと自信を胸に、精進していきたいと思えます。

これから文学という「小宇宙」に何を生み出していくか、必見です。

(二年 浅井 香帆)



HEAVEN'S WHITE

愛知県立天白高等学校

universe

愛知県立豊田東高等学校

天白高校文芸部は、絵や文が好きな人達が集まっていて、とても賑やかな部活です。

主な活動は、月一回の講評会と年に二回発行する部誌の作成です。

夏部誌は、文化祭で販売することもあり、みんなが気合を入れて作っています。

漫画やイラスト、小説がバランスよく載せられているのでどれも質の高い作品が揃っています。

(二年 中村ましろ)



私たち文芸・イラスト部は、一年生十二名・二年生七名の総勢十九名で活動しています。日々の活動では、部員が提案したお題をくじにして引き、それに沿ってイラストや小説をかいています。普段自分が創作しないような作品を作るいい機会になり、新鮮な気持ちで制作することができます。

私たちの部活の主な行事は、文化祭での部誌等の販売と、文化部総合フェスティバルでのイラストの展示です。文化祭では、部誌、イラストボード、ラミネートカード、ポストカードの販売をし、文化部総合フェスティバルでは、全員で決めたテーマに沿って作品を制作しています。

今回の部誌は、同じテーマでも、一人一人違った世界観が表現されていて、とても面白い作品に仕上がっているので、是非お手にとってお楽しみください。

(二年 丸山 七夕)



百花繚乱

愛知県立豊田南高等学校

私たち豊田南高校文芸部は、部員同士仲がよく、学年の壁を越えて趣味を共有できる集団です。

私たちは週二回図書室で活動をし、年四回部誌を発行しています。

百花繚乱は私たちの部誌の共通テーマであり、小説、詩、イラストを中心に部員の様々な個性が花のように咲き乱れる部誌です。

部誌発行の前には、部員同士でお題を交換し、作品づくりに広がりを持たせています。

また、最近絵を描く人が増えているため、イラストを集めた部誌も制作しています。



これからも作品づくりを楽しみながら、より魅力的な部誌を作れるよう頑張っていきます。

(二年 宗形 優)

うつけもの

南山高等学校女子部

私たち南山高校女子部文芸部は春と秋の二回、部誌を発行しています。

春部誌では毎年テーマを決めて小説を書き、前年度は「数字」をテーマに、各部員に担当の数字を割り当てて執筆しました。また秋部誌にはうつけもの・黎明の二種類があり、古くから続いている黎明はやや格式張った、比較的新しいうつけものは黎明よりも自由な作風となっています。今年度は漫画研究部とのコラボも実施し、各話に扉絵と挿絵を描いていただき、華やかな仕上がりとなりました。

部活動は毎週火曜日と木曜日、中高合同で行っています。ランダムに選んだ三つの言葉の小説に取り込む三題指定、タイトルを交換し、それに沿った話を書くタイトル交換や情景描写の訓練など、毎回様々な方面から文章力の向上を図り、毎回欠かさず部員同士で批評を行い切磋琢磨しています。

決して多いとは言えない部員数ですが、その分縦の繋がりが強く、全体の仲が良い部活です。

(一年 日野光夏)



つれづれ かがりび

愛知県立西尾高等学校

私たち西尾高校文芸部では、漫画班が制作する「つれづれ」と、小説班が制作する「かがりび」を、新入生歓迎会、体験入学、文化祭、文化部発表会の年四回発行しています。これらの部誌には、部員だけでなく投稿者の方々の作品も掲載しています。

毎週木曜日に活動しており、主に部誌の制作や、前週に決めたテーマに沿った作品の発表などを行っています。互いの作品の感想を積極的に伝え、今後の作品制作の参考にしています。

部員数は六人と少ないですが、それぞれの個性が輝く作品を作り上げようと日々努力しています。

手に取っていただいた方が楽しんで読めるような部誌を部員全員で制作できるよう、これからも精進していきます。

(二年 宝尺 麻衣)

